

# 報告書〔7〕 分析結果及びフローシート

## 8 ビスフェノールA

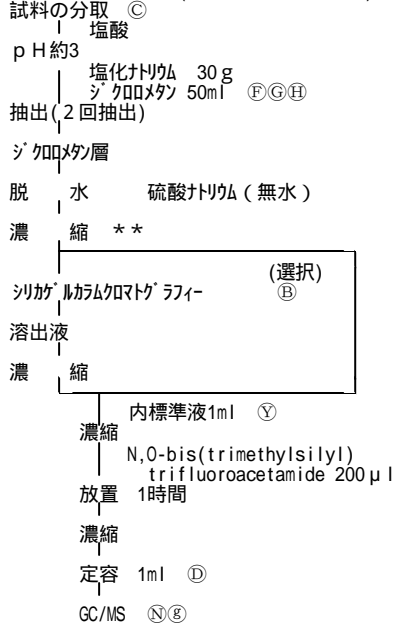
	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析実施機関名						
分析主担当者名	*		分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 (µg/l)	標準偏差 (µg/l)	測定回数 (回)

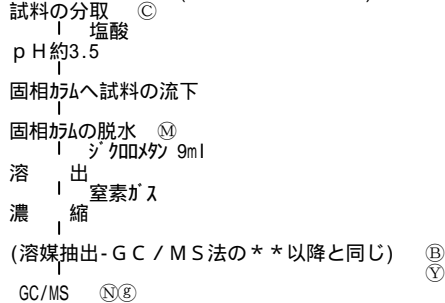
注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	⑭	月	日
分析終了日	⑮	月	日

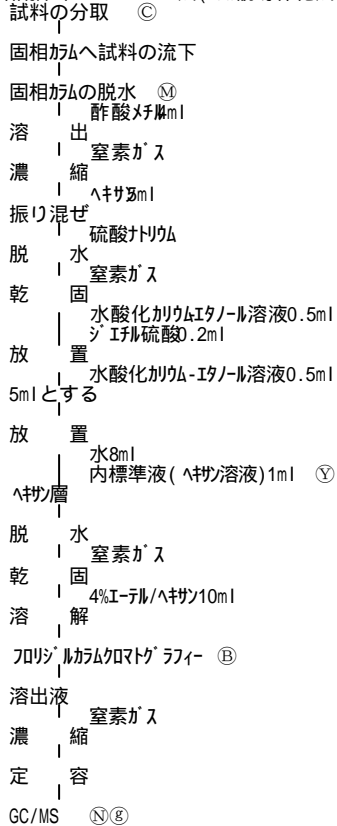
< 溶媒抽出-GC/M S法(トリメチル誘導体化法) >



< 固相抽出-GC/M S法(トリメチル誘導体化法) >



< 固相抽出-GC/M S法(フル誘導体化法) >



< 分析法等 >

分析法	① 1. 溶媒抽出-GC/M S (トリメチル誘導体化法) 2. 固相抽出-GC/M S (トリメチル誘導体化法) 3. 溶媒抽出-GC/M S (フル誘導体化法) 4. 固相抽出-GC/M S (フル誘導体化法) 5. その他( )
クリーンアップ	② 1. フロリジウムカラムマトグラフィー 2. シリカゲルカラムマトグラフィー 3. 実施しない
試料量	③ ( ) ml
最終定容量	④ ( ) ml
濃縮方法	⑤ 1. KD 2. ローターエバポレーター 3. その他( )

< 溶媒抽出条件 >

抽出溶媒の種類	⑥ 1. ジクロロメタン 2. その他( )
抽出回数	⑦ ( ) 回
溶媒量	⑧ ( ) ml / 回

< 固相抽出条件 >

固相の種類	① 1. カラム型 2. ディスク型
充てん剤の種類 ② 種類 ③ 粒径 ④ 量	⑤ 1. ポリスチレン系 2. ポリメタクリレート系 3. DOS系 4. その他( ) ⑥ ( ) µm ⑦ ( ) g
脱水方法	⑧ 1. 遠心分離 2. 吸引 3. その他( )

< 分析条件 >

機器型式(GC) 機器型式(MS) 測定質量数 GC/MS 装置型式 イオン検出法	メーカー( ) 型式( ) メーカー( ) 型式( ) ① ( ) ② 1. 単集束 2. 二重集束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他 ③ 1. SIM法 2. マスクドモード法
カラム型式 カラム形状	メーカー( ) 型式( ) ④ 内径( ) mm ⑤ 長さ( ) m ⑥ 膜厚( ) µm
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	⑦ 1. N <sub>2</sub> 2. He 3. その他( ) ⑧ ( ) ml/分
試料注入部温度 試料注入方法	⑨ ( ) ⑩ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

< 検量線の作成等 >

定量方法	⑪ 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質 種類⑫ 1. ナフタレン-d <sub>8</sub> 2. フェナントレン-d <sub>10</sub> 3. ビレン-d <sub>10</sub> 4. アセナフテン-d <sub>10</sub> 5. フルオランテン-d <sub>10</sub> 6. その他( ) 添加量⑬ ( ) ng
試薬(標準原液)	⑭ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー( )
検量線	⑮ 作成点数( ) 範囲⑯ ( ) ~ ⑰ ( ) 単位 ⑱ 1. ng(注入量) 2. mg/l(濃度) ⑲ 最高濃度のピーク高又は指示値( )
試料溶液 ブランク	⑳ ピーク高又は指示値( ) ㉑ ピーク高又は指示値( )
加ゲート物質の使用	㉒ 1. 使用していない 2. 使用する 加ゲート物質 種類⑲ 1. 重水素化ビスフェノールA 2. その他( ) 添加量㉓ ( ) ng
検出下限値	㉔ ( ) µg/l

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----